中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」

中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」(2017～2019年度)では、未来への成長投資によって収益性を伴った売上成長を目指す「量的成長」とたゆまぬ構造改革によって営業利益率10%以上を目指す「質的転換」を両立し、新次元の成長を目指していきます。

基本方針:成長の質のSHIFT

			基本戦略
S	Sustainable	E/S/G視点で持続可能な経営基盤構築	"経営基盤"の強化
H	Human resources	事業を支える多様な従業員が活躍	
I	Innovation	際立つ技術と品質で新製品・新事業創出	"3つの取組み" 「融合-Fusion-」による加速
F	Frontier	新分野・新エリア・新用途を開拓	
T	Transformation	収益力を強化し強靭な事業構造を構築	

- 技術の融合
- 機会の融合
- リソースの融合

新次元の成長

量的成長

適切な数多くの伸びしろをとらえ、**収益性を伴った売上成長**を目指す

＋

質的転換

継続的な収益性改善、有望分野への資源配分により、**営業利益率10%以上**を目指す

未来への成長投資 と **たゆまぬ構造改革**

未来への成長投資	たゆまぬ構造改革
高機能プラスチックス 4戦略分野の戦略設備投資、M&A	高機能プラスチックス 生産再編による収益力向上
住宅 ボリュームゾーン攻略新商品の投入	住宅 サプライチェーン全体のコスト革新
環境・ライフライン 高付加価値製品の生産能力増強、海外でのパートナー戦略強化	環境・ライフライン 生産体制の最適化

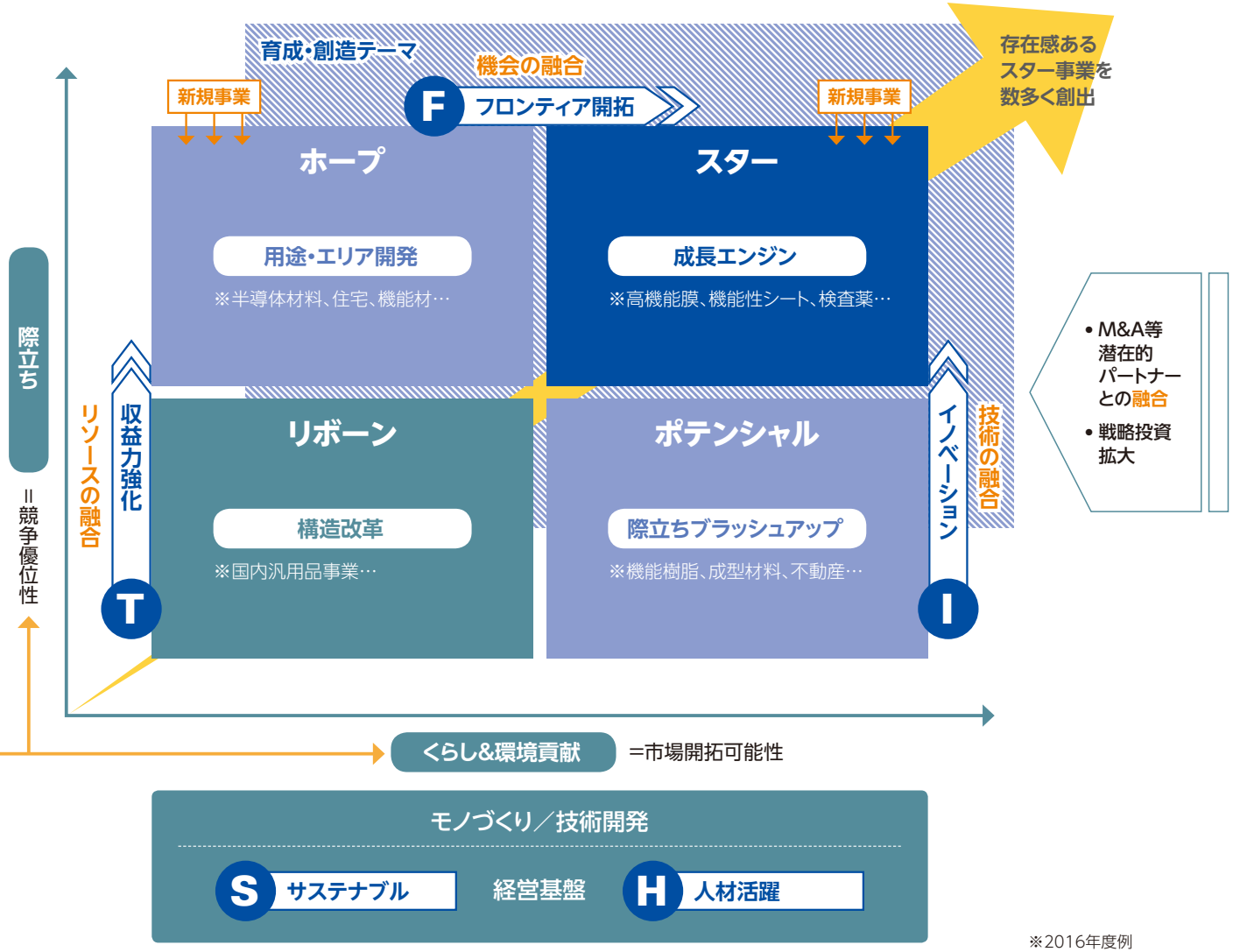
目標

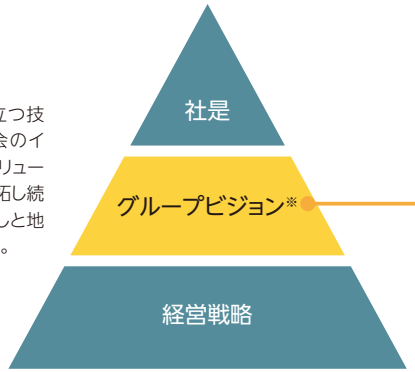
	2016年度実績	2019年度中期計画※
売上高	10,658億円	12,000億円
営業利益	965億円	1,200億円
営業利益率	9.1%	10%
純利益	609億円	750億円
ROE	11.3%	12%
海外売上高	2,518億円	3,000億円
国内売上高	8,139億円	9,000億円

※為替前提
ドル 100円
ユーロ 113円

中期経営計画 戦略全体像

中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」では、グループビジョンの考え方をベースに、新たな事業の枠組みを設定し、「収益力強化」「イノベーション」「フロンティア開拓」の3つの取り組みを中心に、成長エンジンとなるスター事業を拡大していきます。





※積水化学グループは、際立つ技術と品質により、「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」のフロンティアを開拓し続け、世界のひとびとのくらしと地球環境の向上に貢献します。

※2016年度例

中期経営計画 3つの取組みによるスター事業の創出・拡大

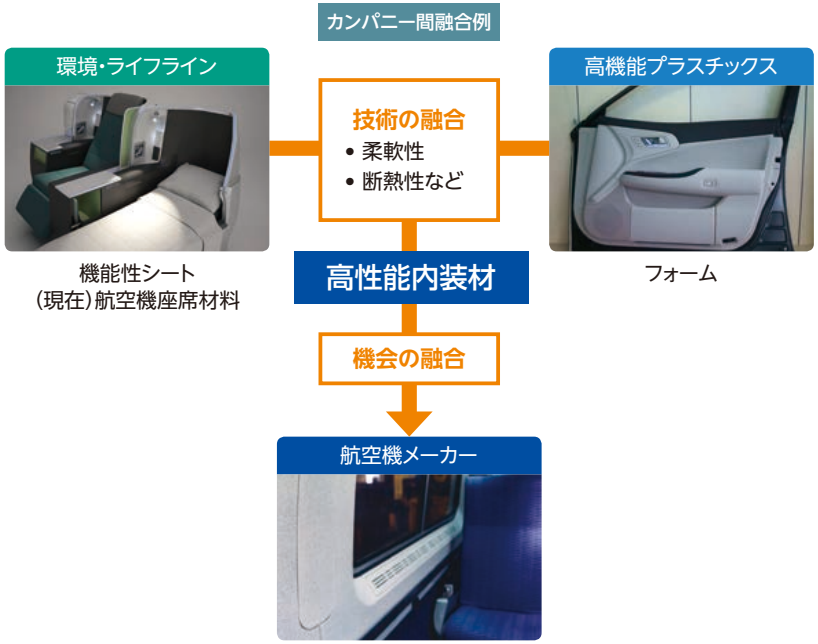
中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」では、計画最終年度となる2019年度時点で、5つの成長領域で10を超えるスター事業群形成を目指します。

中期経営計画 融合

中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」における成長は、既存事業の成長とともに、“融合”をテーマにした取り組みで既存事業のさらなる成長と新規事業（育成・創造テーマ）の推進を加速することで、達成していく考えです。

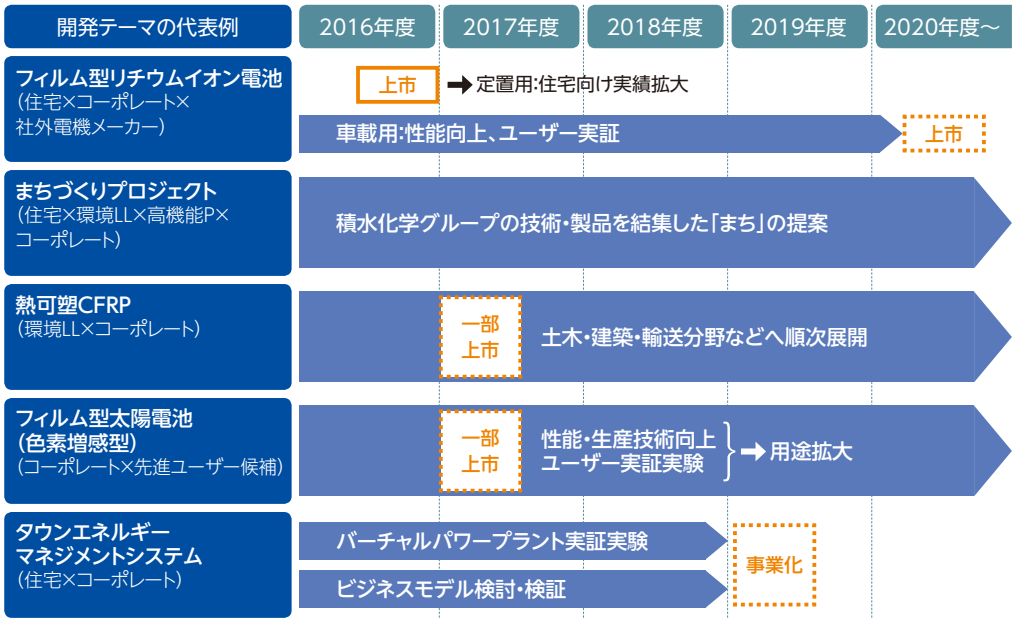
既存事業の融合

20以上の融合テーマに取り組み、増分を創出する



育成・創造テーマの事業化

住社会基盤、産業素材革新、環境エネルギー領域で新規事業を創出する



※高機能P:高機能プラスチックスカンパニー、環境LL:環境・ライフラインカンパニー